豊田市立崇化館中学校校長室だより

アジサイハナ

令和８年３月１３日（金）発行（文責：松原秀敏）

幸せマックスの日へ　よーい、はじめ　（3.３ ３年生を送る会より）

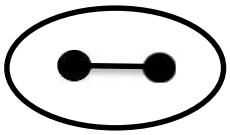
心がとても温かくなる会でした。１・２年生の皆さんのおかげです。ありがとうございました。そして、在校生がこれほど大きく成長できたのは、卒業生の皆さんのおかげです。「こころ」学年の皆さん、ありがとうございました。

実は私、このアニメキャラクターが昔から好きなんです。このキャラクターは、人の心もケアできる医療ロボットなんです。私は、このロボットのように、生徒たちの心をケアできる「やさしい学校」をつくりたい…そんなことを思って、今の仕事をしています。でも、「校長先生、おはようございます」と、毎朝、名前を言ってあいさつされていると、なんだか私の方が皆さんに心をケアされているなあと思い、いつも心が温かくなっています。

まもなく「こころ」学年を頂点とする崇化館中学校の令和７年度が終わります。私は皆さんとの２年間を振り返り、卒業式３日前だから伝えたい、皆さんとの思い出を話します。２年前の自然教室の夜、火の神の役を終えた私は、体育館テラスで、皆さんの合唱を聴いていました。そのとき、皆さんの歌声が、１階の体育館フロアから 2 階の体育館テラスへと吹き上がってきて、驚いたことを覚えています。9 月初めの暑い時期の自然教室だったという理由だけでなく、皆さんの歌声の熱気が、下から吹き上がってきたのだと思っています。

卒業式は、皆さんと同じフロアにいるので、その感覚を味わうことできません。でも、今、ここにいる令和７年度卒業生と在校生なら、この体育館の天井にあたって、上から下へと降り注いでくる、そんな歌声をつくりだせそうな気がしています。それができたら、とても幸せだなあと思っています。３月６日、私たちは心を一つにして「幸せマックス」の一日をつくりあげましょう。

さあ、「よーい、はじめ」



本当に本当に素晴らしい卒業式でした。「幸せマックス」の一日をありがとうございました。さあ、これから生まれる数えきれないほどの「名場面」を探しに行きましょう。崇化館中学校は、皆さんのことを　ずっといつまでもすいている